

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身やご家族の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

《試料・情報の利 用目的及び利用方 法》	●研究の名称 炎症性腸疾患患者の腸管組織における線維芽細胞および上皮細胞のサイトカイン関連因子の発現解析
	●研究の対象 2016年1月から2026年7月末までの間に、浜松医科大学医学部附属病院において、 ・炎症性腸疾患（潰瘍性大腸炎またはクローン病）の診断・治療のために内視鏡検査または手術を受けられた方 ・過敏性腸症候群や慢性下痢の精査のために内視鏡検査を受けられた方 ・研究課題 20-178「炎症性腸疾患における内視鏡的重症度を予測し得るバイオマーカーの有用性の検討」に登録された方
	●研究の目的 炎症性腸疾患（潰瘍性大腸炎やクローン病）は、腸に慢性的な炎症が起こる病気です。この研究では、炎症性腸疾患の患者さんの腸の組織（内視鏡検査や手術の際に採取され、病理部に保存されている組織）を用いて、腸の炎症に関わるタンパク質やその遺伝子がどのような細胞でどのように発現しているかを調べます。炎症が活発な時期、落ち着いた時期、および炎症のない方の組織を比較することで、炎症性腸疾患の仕組みの解明や、将来の新しい治療法の開発につなげることを目的としています。
	●研究の期間 研究機関の長による実施許可日から2031年3月31日まで

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

	●利用又は提供を開始する予定日 研究機関の長による実施許可日
	●他の機関に提供する場合には、その方法 この研究では解析作業を外部業者に委託します。解析に必要な試料を専用の容器を用いて提供しますが、試料からは個人を特定できる情報は含まれていません。
《利用し、又は提供する試料・情報の項目》	●研究に使用する試料・情報 試料：内視鏡検査時の生検および手術時に得られた大腸粘膜組織（病理部に保存されているパラフィン包埋ブロック） 情報：内視鏡検査所見、病理組織所見、臨床診断名、疾患活動性、治療歴、血液検査データ（血算、生化学、CRP、LRG、IL-6 等）、尿検査（PGE-MUM）、便検査（便中カルプロテクチン、便潜血検査） 等
《利用する者の範囲》	●機関名および責任者名 研究機関：浜松医科大学 杉本健 外部委託先：現在選定中です。
《外国にある者に対する試料・情報の提供》	この研究では外国にある者へ試料・情報を提供しないため、該当しません。
《試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称》	国立大学法人浜松医科大学
《試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）》	あなたの試料または情報を研究に使用することを望まない場合には、下記の問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用を停止することができます。 ただし、ご連絡をいただいた時点で、既にあなたの情報が個人を特定できない形に加工されている場合には、どのデータがあなたのものであるかを判別できないため、使用の停止に応じられない場合があります。 また、既に学会発表や論文として公表された研究成果につ

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

	いては、完全な削除・撤回が困難です。
《資料の入手または閲覧》	この研究の計画や方法については、ご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。ご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。
《情報の開示》	ご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。 また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示いたしません。
《問い合わせ先》	〒431-3192 浜松市中央区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学 部署名： 内科学第一講座 担当者： 丹羽智之 TEL： 053-435-2111